

## ●こばんだウインズ：サクソ奏者 上野耕平氏インタビュー

### ・バリアフリーコンサート出演への思いについて聞かせてください。

バリアフリーコンサートは、僕にとって初めての経験になります。実は、僕の父親が福祉施設にずっと勤めていて、小さい頃からそういう施設に遊びに行ったりした思い出もあつ、今回は本当に貴重な機会だと感じています。

その日のお客様がどのような方か、どういうテンションか、お客様の個性によって、その演奏会の雰囲気が変わるので、今回どういう風なコンサートになるのか、単純に楽しみにしています。

### ・今回のコンサートで意識したいことはなんでしょう。

「わかりやすさ」ですかね。一つのことを深めていくというよりは、音楽の様々な側面や、空気を、わかりやすくキャッチしてもらえるようにしたいなと思っています。

「わかりやすさ」という点において、編成が小さいほうが、それぞれの楽器の音色が聴き取りやすいんです。だから、今回ちょうどいい人数なんですよ。同じ管楽器のなかで、こんなに音色が違うんだ、というのが感じられると思います。

### ・今回のコンサートの楽しみは何だと思いますか？

聴くだけでなく、見た目でも楽しめる場所かと。ステージと客席の距離が近いので、音の出る仕組みなど、間近で楽器を見ることのできる機会になります。実際に目の前で演奏を体験すると、ちょっと親近感がわいてくると思いますよ。「ああ、そうやって吹いてんだ」とか。聴いているだけだとわからないことっていっぱいありますので、トークも含めて、より「わかりやすく」。次にまた違う演奏会とか音楽や楽器に触れるときに、より楽しくなれるような、そういうコンサートにしたいなと思います。

### ・吹奏楽の楽しみ方はありますか？

何も下準備せずに飛び込んでくることです。

人は誰も呼吸（息）をしていて、その息を使って楽器を演奏する、そんな身近さを感じてもらったり。いろんな種類の楽器の音が融合したり分離して立体的に聞こえる、変幻自在なところを見つけてもらったり。今回、7人とは思えないくらい、いろんな音が聴こえてくると思います。

だから、「この曲の歴史は～」とかの下調べとか下準備とかなく、気軽に来て、身体で感じていただけるのが、吹奏楽の楽しみ方の特徴かなと思います。

### ・吹奏楽のイメージとして、音が大きい印象があるのですが。

吹奏楽というと、学生の大人数の吹奏楽部を思い浮かべて、吹奏楽=音が大きいというイメージがあるかもしれませんが、我々の演奏はまた違って聴こえるのではないかと思います。もちろん、音圧はあるかもしれませんが、そうじゃない広がるような響きであつたり、柔らかい響きであつたり。食べ物で例えると、いろんな触感を味わってもらえると思います。

### ・こばんだウインズの魅力について教えてください。

小人数だからこその面白さ、っていうのがあつんですよ。それぞれの顔が見えやすい、音も聞こえやすい、キャラクターもわかりやすい。音楽としての機動力の高さも、小人数だから発揮できるポイントです。我々こばんだウインドオーケストラは、すごく自由な音楽空間を作っていて、良い意味で「こうじゃなきゃいけない」という決まりがない。

なので、僕たちも当日集まってみて、自分たち自身もどうなるかわからないライブ感が、とても魅力的なところだと思っているので、そこを一緒に楽しんでもらいたいです。

### ・こぼんだウインズっていうのは、編成（メンバー）が決まっているのでしょうか？

こぼんだは、決まっていないんです。まず、“ぼんだウインドオーケストラ”という大きい楽団があって、その中で 16 人編成の“こぼんだウインドアンサンブル”というチームがあるんですが、これは編成が決まっています。それよりさらに小さい編成が、こぼんだウインズっていう名前になって、それは様々な組み合わせがあるんです。

例えば、今回のような、金管と僕（サクソ）というような場合や、木管 5 重奏と僕、といったような場合もあります。他では絶対聴けないと思いますよ。普通の編成ではないんです。吹奏楽の楽器たちの中から、今回の楽器を選んで演奏すると、こういう音になるのか、とか、そういう発見もしながら楽しめるのではないかなと思います。どんなコンサートになるのか、想像つかないですよ。どうなるんだろうっていうワクワクも感じてもらいたいです。

### ・上野さんが演奏するうえで大切にしていることは何ですか？

僕個人としては、この演奏が最後になってもいいと思える演奏をすることです。毎回、次があると思わないことです。演奏回数が多くなって、平日頃から演奏活動をしていると、だんだん「明日もあるし」とか思いはじめてしまったりするのですが、そうじゃないんだと。お客さんの中には、その日その場所で聴くコンサートが、人生最後の演奏になるかもしれないし、自分がそうなるかもしれないし。命削って音を出すことを意識しています。

### ・サクソには種類があると思いますが、特に思い入れが強いものはありますか？

いやあ、難しいですね。全部違うんですよ。指は全部一緒だし、吹き方も一緒だけれど、やっぱり音の高さだけじゃなくて、その楽器が持っている声っていうのが別なので、、、難しいですね。ちなみに、この公演では、ソプラノとアルトを使います。

### ・オンラインや TV、CD ではなく、コンサート会場に来場する良さは何だと思えますか？

音って空気の振動ですから、実際にコンサート会場でその生の空気の振動を肌で感じると、高いお金かけて良い音響設備を揃えて耳だけで聴くと、全然意味が違いますよね。音楽って空間を共有するものです。僕は、生演奏にとって代わるものは何もないと思っています。

### ・音楽が持つ力はどんなものだと思いますか？

音楽って、一生付き合えるものなんです。世の中にある音楽を全部聴ききることは、一生かかってもできないくらい沢山あるし、一つ一つが本当に奥が深くて。自分の人生のどんな時であっても、音楽は絶対寄り添ってくれる。時には自分を奮い立たせてくれるし、優しく寄り添ってくれるし、なんだか友達のような存在だったりするのが音楽です。

我々がやっているクラシックっていうのは、楽譜という紙切れ一枚で何百年も前の人の生きざまが浮かび上がってくるんです。これはなかなかない文化だなと思います。

音楽は、特にコンサートの短い時間で得たものは、その後の人生を豊かにしてくれます。そういうことも含めて、皆さん音楽と一緒に人生歩んでほしいなと、僕は思います。

### ・皆様へメッセージ

何にも準備なく来て欲しいです。何も調べず、気軽に来て絶対に楽しめますから。吹奏楽に触れたことのない人、コンサートに縁がなかった人も、絶対に楽しめる時間になりますよ。初めての人が来ても、それぞれの楽しみ方を一緒に発見するのが、僕たちのコンサートの醍醐味なので！ぜひ、飛び込んでください！